

ポルシェ 「ニュー 911 GT3 RS」 の欧州市場導入を決定
----------------------------------

ポルシェ AG（本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：Dr. ヴェンデリン・ヴィーデキング）は、10月以降にニュー911GT3 RSを欧州市場で導入することを決定いたしました。

ポルシェファンなら、「RS」という名を聞くと胸の高まりを覚えることでしょう。伝説となっている1972年の911 カレラ RS2.7 やタイプ 964 の 911RS (1991) も、きわめて優れた操作性とハンドリングによって傑出したスポーツカーでした。こうした伝統はニュー911GT3 RSにも受け継がれ、従来の「RS」モデル同様レース参戦を前提としたホモロゲーション用ベース車両となっています。

きわめてパワフルなエンジンは、総排気量 3.6 リッターで、最高出力 305kW (415bhp) / 7,600rpm を発生、最高回転数は 8,400 rpm に達し、リッター当たりの出力は 115.3hp となります。この数値は先だってデビューした現行の 911GT3 と同じものですが、RS はさらに優れたパフォーマンスを発揮します。クロス・レシオ化された 6 速トランスミッションとシングルマス・フライホイール、20 kg 軽量化された車両重量によりエンジンの吹き上がりはさらに鋭くなるのです。GT3RS の 0-100km/h 加速は、GT3 よりも 0.1 秒速い 4.2 秒となっています。また 200km/h にはわずか 13.3 秒で達し、最高速度は 310 km/h です。

ニュー「RS」の特徴のひとつは、リアエンドが 911 GT3 よりも 44mm ワイド化されていることです（これはカレラ 4 モデルから受け継いだ特徴です）。このマッスルなリアエンドはトレッドが広げられたことを意味しており、これにより安定性が向上するだけでなく、コーナリングフォースも向上しています。

特別仕様のボディにもかかわらず、「RS」は GT3 より 20kg 軽く、僅か 1375kg しかありません。この軽量化を実現するために、カーボンファイバー製調整式ウィング、プラスチック製リアリッド、プラスチック製軽量リアウインドウなどが採用されています。これによりパワーウエイトレシオは 3.3kg/hp となっています。

将来、世界各国で開催されている主要な GT 選手権に参戦するためのレギュレーションを念頭に入れて、GT3 RS のロードバージョンではいくつかの技術的な変更が加えられており、これはレース仕様でも採用される予定です。具体的な変更点としては、カーボンファイバー製ボディ部品に加えて、リアアクスルのスプリット式ウィッシュボーンを含むすべてのサスペンション部品などがあります。

インテリアも、このクルマのスポーツ性に見合ったものになっています。カーボンファイバーコンポジットによる2つの軽量バケットシートは標準で装備され、クラブ・スポーツ・パッケージでも装備されます。ボルト固定式のロールケージや、バッテリーメインスイッチ用のプリハーネス、ドライバー用の6点式シートベルト、消火器も装備されます。内装はブラックで、高品質のアルカンタラレザーがルーフライニング、ステアリングホイール、シフトレバーに使用されています。

エクステリアカラーは、アークティックシルバーメタリックまたはブラックを選ぶことができるほか、オプションとして、オレンジまたはグリーンも用意されています。すべてのエンブレムとホイールは、ボディカラーとコントラストをなすようにオレンジまたはブラックになっています。

<p>&lt;本件に関する読者からのお問い合わせ先&gt; ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911 ポルシェ ホームページ <a href="http://www.porsche.co.jp">http://www.porsche.co.jp</a></p>
---

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>  
ポルシェ ジャパン株式会社  
広報室／荒瀬大雅  
〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F  
TEL：03-5436-5923 FAX：03-5436-5919

ポルシェ ジャパンプレスサイト <http://press.porsche.co.jp>